

# 国語科学習指導案

岐阜市立加納中学校  
伊藤大輝

## 1 単元名 「話題や展開を捉えて話し合おう グループで語り合い、ものの見方を広げる」

### 2 単元の捉え

本単元では、[知識及び技能(2)情報の扱い方に関する事項 ア]「原因と結果、意見と根拠などの情報と情報との関係について理解すること」及び[思考力、判断力、表現力等 A話すこと・聞くこと(1)オ]「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること」を身に付けることをねらう。

本単元では、第2学年「立場を尊重して話し合おう」、第3学年「合意形成に向けて話し合おう」に続いていく、「話すこと・聞くこと」の系統である。第2学年では、相手がどのような根拠を基に意見を述べているのか、相手の立場や意見の背景について多角的に検討したり、話し合いを円滑に進行したりすることで、互いの立場や意見を尊重して話し合いを進めることができるようにする。第3学年では、提案を分析し、整理したりすることや、提案を絞り込んで、まとめたりすることで、合意を形成することができるようにする。そのため第1学年では、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるように、意見と根拠の関係性や、情報と情報の関係性について理解し、話題や展開を捉えながら話し合いができることを目指す。

本単元では、生徒自身の身近なことや経験したこと、さらにはICTを用いることで得られた情報などについて、自身の意見や相手の意見と結び付けて話し合いを行う。話題からそれないように話したり、他の人の発言と結び付けて話し合ったりするために、自分の考えや集団としての考えをまとめて建設的に話し合うことの価値に気付かせたい。

### 3 生徒の実態

本学級30名の生徒に、話し合い活動に対する意識調査を行った。調査内容と結果は以下のようになった。(その他の選択肢は表1を参照)

	調査内容	最も多かった回答	回答数(人)
①	話し合いをするとき、どんな気持ちになりますか。(複数回答可)	楽しい	22
②	話し合いをするときに困ることはありますか。(複数回答可)	他の人の意見に反対しにくい	12
③	話し合いをよりよくするために必要だと思うことは何ですか。(複数回答可)	小さいグループで話し合う	12
④	今後、もっと話し合い活動をしたいですか。	はい	20

①、④の結果を見ると、話し合い活動に対し、前向きに取り組もうとする意識が見られる。また、③の調査内容に対する選択肢には、「時間をたくさんとる。」「話し合いの練習をたくさんする。」といったものを用意した。しかし生徒は、小集団で話し合うことが有効であると感じていた。これは、普段から生徒たちが帰りの短学活などで、日常的に行っている班会議や、授業内での小集団交流に効果を感じているからだと考えられる。しかし、生徒の困り感を把握する②のような質問をすると、「他の人の意見に反応しにくい」に多くの回答が集まった。理由を聞くと、「自分の意見と比べたときに反対意見なのか分からない。」「自分が反対した意見が間違っていたらどうしようと不安になる。」という声が上がった。そのため、本単元では、意見と根拠の関係性、情報と情報との関係性について理解し、互いの発言を結び付けて考えをまとめる力を身に付けさせたい。

また今回の意識調査では、生徒に対し、「話し合いはどのようなことに役立つか。」という質問もした。すると生徒は、「相手の考えがわかる」と答えた。そこで、生徒が話し合いの中で、本当に相手の考えがわかっているのかについて測るレディネステストを行った。今回は、「学校に携帯電話をもってくるべきか」についての話し合いをしている、ある学級の音声を聞き取り、自分も一員となって質問するという形で行った。内容、結果については以下の通りである。

	調査内容	割合 (%)
⑤	話し合いの中で、互いの立場や意見を理解しているか。	71
⑥	相手の話し合いを理解し、適切に質問することができるか。	23

⑤の結果から、話し合いの中で、相手の立場や意見を正確に理解している生徒が多いことが分かった。しかし、⑥の結果を見ると、相手の立場や意見を理解しつつも、話し合いの目的や目指している到達点を理解せず、内容から逸脱した質問をしてしまう生徒が多くいることも分かった。このことから、互いの発言を結び付けて考えをまとめる力を身に付けることの重要性が伺える。

意識調査、実態調査の二つの結果から、本単元では、生徒たちの身近な問題に対し、問題解決に向かう議論を行う活動を行い、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができるようにしていきたい。また、話し合いの際には、意見と根拠、情報と情報との関係性についても、正確で客観的な事実であるかを吟味して、意見を支える根拠を用意できるように指導にあたりたい。

表1 本学級の生徒に対して行った意識調査内容

	調査内容	選択肢
①	話し合いをするとき、どんな気持ちになりますか。 (複数回答可)	楽しい 不安 面倒臭い やる気が出る 緊張する 自信がある その他
②	話し合いをするときに困ることはなんですか。 (複数回答可)	何を言っているのか分からない 他の人の意見に反対しにくい 発言するのが恥ずかしい 自分の意見が通らない 時間が足りない その他
③	話し合いをよりよくするために必要だと思うことは何ですか。 (複数回答可)	小さいグループでやる 話し合いの練習をする 先生がまとめてくれる もっと時間をとる 意見の出し方を学ぶ その他
④	今後、もっと話し合い活動をしたいですか。	はい いいえ

#### 4 研究内容とのかかわり

##### 研究内容1 探究的な学習を生み出すための、指導計画の工夫と評価の一体化

##### <1> 育成を目指す資質・能力を整理し、それに適した言語活動の設定

本単元で重点的に育成を目指す資質・能力は、A「話すこと・聞くこと」(1)の指導事項オである。ここでは、話題や展開を捉えながら話し合うために、多くの発言によって考えを広げていく段階や、出された発言の内容を整理しながら考えをまとめる段階について、話し合いが目指している到達点を常に意識しながら、その経過を捉えて話したり聞いたりする力を育成する。また、話し合いの展開に応じて、自分の発言と他者の発言とを結び付けたり、他者同士の発言を結び付けたりして、自分の考えや集団としての考えをまとめる力も育成していきたい。こうした力を育成するには、身近な問題や事象について、それぞれの立場から意見を出したり、質問したりする言語活動が適している。そこで、本単元は、「自転車利用時のマナーを改善するには」とテーマを設定し、「グループで語り合い、ものの見

方を広げる」という言語活動を通して、話し合いの展開に応じて、話し手や聞き手になり、建設的に話し合い、考えをまとめることができるようにしたい。

このテーマを設定した理由は、本校生徒の自転車利用について、地域の方から心配する声をいただくことが度々あることにある。生徒自身も、自転車走行中に対物、対人事故に遭うことがあり、問題視している。しかし、具体的な方途について話し合う場がなく、一人一人の意識の変革に委ねている部分が多い。後期から生徒会執行部に所属する第1学年の生徒が出てくる今、この問題について話し合うことは生徒にとって、大きな目的意識につながると考えた。

このテーマについて話し合うことを通じて、目指している話し合いの到達点を共有し、それに向けて自分の発言と他者の発言とを結び付けたり、他者同士の発言を結び付けたりして、自分の考えや集団としての考えをまとめる力を育成していきたい。

## ＜2＞ 評価規準、評価方法を明確にした指導と評価の計画

指導と評価の計画には、一単位時間ごとに、ねらいと評価規準、評価方法を明記した。

導入として、第1時では、4月から夏休みの自転車走行に関する事案発生データのデータを見て、「自転車利用時のマナーを改善するには」というテーマを設定する。また今回の話し合いは、具体的な解決策を決め、生徒会に提案することを目標として共有する。解決策を決めるまでに、どのような話し合いが必要か、話し合いの中でどのようなことが大切かについて問い、その考えが単元を通して学んでいく中でどのように変容していくのかを見届ける。そのため生徒は、学習カードを使い、振り返りを記入していく。教師は、それを毎時間の指導に生かす。第2時では、自分の意見と、その根拠の明確さを意識しながら、考えをまとめる。その際にワークシートを使用し、第3時での交流でも、視覚的に互いの意見を比較できるようにする。意見と根拠の関係性、情報と情報との関係性について意識しながらまとめているかをワークシートの書き込みや情報の追加、修正等のメモで評価する。また、情報の正確さについても情報源を明記させることで評価する。

本時にあたる第3時では、話題についてICTで意見と根拠を仲間と共有しながら話し合い、相手の意見と自分の意見の関係について整理し、結び付けながら発言するように努めていく。この経験を通して、展開に応じて相手の意見に対し、自分の意見や用意していた情報を結び付けて話したり、互いの発言から、考えを広げたり、小集団での話し合いをまとめたりすることができることを知り、建設的に話し合っていることをワークシートの書き込みや本時に記録する内容から評価する。第4時では、録画を見て、話し合いを振り返り、感想や、内容、話し方、聞き方について良い点を伝え合う。また、小集団で話し合った内容について学級に報告する。終末では単元を振り返り、解決策を決めるまでに、どのような話し合いが必要か、話し合いの中でどのようなことが大切かについて学習カードに記入し、記録に残す評価とする。

このように、単位時間ごとの学びを蓄積し、話題や展開を捉えながら、互いの発言を結び付けて考えをまとめられることとともに、意見と根拠など情報と情報の関係について理解するための資質・能力を身に付けさせる。

## 研究内容2 教科の見方・考え方を働かせるための指導過程の工夫

### ＜1＞ 言葉による見方・考え方を働かせ、深い学びにつなぐための学習展開の工夫

本時では、以下のように学習を進めていくことで言葉による見方・考え方を働かせていく。

導入では、前時までの学習を振り返る中で、「話し合うときの視点」を確認する。「話し合うときの視点」とは、前単元「進め方について考えよう」や、第3時で見た「グループで話し合う(教科書 p. 194)」をもとに生徒たちが見つけたものである。視点は①話し合いの目的、話題②共通点③相違点④意見や情報の関係性である。

展開前段では、小集団による話し合い活動を行い、導入で確認した「話し合うときの視点」をもとに、自身の意見を発言したり、仲間の意見を聞いたりする。互いの発言について、共通点や相違点を確認しながら話し合いを進めていく。

展開後段では、話し合いが平行線のままになってしまったり、話し合いの終着点が分からなかったりすることが予想される。そこで、建設的な話し合いをし、考えをまとめることができるよう、「どうすれば話し合いをまとめられるだろう。」と発問する。これまで、意見と根拠、情報と情報との関係性について、「話し合うときの視点」をもとに確認しながら話し合いを進めてきたが、話し合いが「自転車のマナー

改善に向けた具体的な方途を生み出す」という目指す到達点に向かっているか立ち止まって考えさせたい。目指す到達点に近づくためには、互いの意見を出し合うだけでなく、共通点や相違点について注視し、建設的な意見を出し合うことが必要であると実感させ、滞っていた話し合いを前進させる。

生徒は本時、情報の関係性について理解を深めながら、さらに建設的な話し合いができるように自身の意見や仲間の意見について、関係性を意識しながら吟味する。その中で、言葉による見方・考え方を働かせながら、「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる」力を身に付けられるようにしたい。

## ＜2＞ 自己調整を図る場の設定と指導の工夫

本時において、生徒が自己調整を図りながら「話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる」力を高めていけるようにするためには、視点を意識し話し合うだけでは難しい。そこで、今話題がどのように展開しているのか、どの部分について議論しているのかを常に把握し、自身の発言の内容や仕方について調整することが大切であると考えた。

そこで本時では、前単元「進め方について考えよう」で既習した「効果的な工夫」について振り返る場面を設定する。役割、場面、効果的な工夫については以下の通りである。

役割	場面	効果的な工夫
全員	話し合い全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>●参加する全員が話しやすい雰囲気をつくる。</li> <li>→威圧的な話し方をしない。</li> <li>→うなずいたり、相槌を打ったりしながら聞く。</li> <li>→わからないことは質問する。</li> </ul>
進行役	話し合いの初め	<ul style="list-style-type: none"> <li>●話し合いの目的を確認する。</li> <li>●話し合いのゴールを確認する。</li> </ul>
	話し合いの途中	<ul style="list-style-type: none"> <li>●話題がそれたときは、元の話題に戻す。</li> <li>●必要に応じて、これまでに出了意見を整理する。</li> </ul>

話し合いの開始時に自分の役割を確認し、「効果的な工夫」を確認する。また話し合いの途中でも、生徒が、一人の発言に対して反対意見を言えない雰囲気を感じたり、出てきた意見が整理できていないと感じたりしたときに、この「効果的な工夫」をもとに振り返るようにしていく。そのため、「効果的な工夫」はICTを使用し、生徒がいつでも見られるようにする。それぞれの役割について、自身の話し合いに向かう姿勢について自己評価したり、他者評価をもらったりして、自己調整を行っていく。また、主発問を受けて、自身の考えについて練り直す時間を設けることで、目標に到達するための考えへと自己調整を行っていく。その際、「努力を要すると判断される生徒」には、他の発言との共通点を見つける声かけを、「概ね満足できると判断される生徒」には、話し合いを前進させるための考えの形成に繋がる声かけを行っていく。

終末では、本時に録画した映像の中から、自身の発言を振り返ることで、本時できるようになったこと、今後の話し合い活動に向けて意識したいことなどについて考え、学びを言語化することにより、今後に向けた自己調整を図らせる。

## 5 本時のねらい

「自転車のマナー改善に向けた具体的な方途を生み出す」ための話し合い活動を通して、話し合いの目的や条件を常に意識することが大切であると気づき、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。

## 6 本時の評価規準

話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる発言をしている。

【思考・判断・表現】A（1）オ《評価方法：発言、話し合い動画》

## 7 本時の展開（3/4時間）

学習内容	主な学習活動	研究内容にかかわる手立て等						
学習の見通しをもつ。	① 本時行う話し合い活動の趣旨を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">◎ 話し合って、それぞれの意見を一つにまとめよう。</div> ○ 話し合うときの視点を確認する。	研究内容1（2） 本時は話し合いで、「自転車のマナー改善に向けた具体的な方途を生み出す」ことを目指すことを生徒と共有する。						
意見と根拠を明確にして自身の考えを発信する。  相手の発言に対し、自分の考えはどのような関係性にあるか考える。  互いの意見の共通点、相違点を明確にして、考えを結び付けて一つにまとめる。	② 互いの発言について共通点、相違点を見つけ、話題や展開を捉えながら話し合う。 ○ それぞれの役割ができる効果的な工夫を確認する。 ○ それぞれの発言をもとに話し合いを進める。 <table border="1" style="width: 100%; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th>役割</th> <th>発言内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">司会</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>今回の話し合いは、「自転車のマナー改善に向けた具体的な方途を生み出す」ことを目指します。</li> <li>お互いの発言内容を結び付けながら話し合いを進めましょう。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">参加者</td> <td> <p>A 私は登下校時に生活部員が見守る活動をすると思います。アンケートを見ると、「誰も見ていないから」という考えで速度を出しすぎている人が多いことから、見る人を増やすと解決できると思います。</p> <p>B 私はAさんの意見に反対です。今ボランティアとして見守りをしてくれている人がいるけれど、下校時刻が遅くなっていて、日の入りが早くなると、その子の下校が遅れることも心配だからです。</p> </td> </tr> </tbody> </table> ③ 互いの発言を結び付けて考えをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">☆ どうすれば話し合いをまとめられるだろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの目的や条件を確認して、今話し合っている内容が合っているのか確認する。</li> <li>司会者が元の話題に戻したり、必要に応じて、これまでに出了意見を整理したりすることが大切である。</li> </ul> ○ 話し合いを前進させるために、自身の考えを練り直す。 ○ 話し合いで出てきた発言を整理し、考えをまとめる話し合いを行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">Bさんは、誰かが見守ることに賛成だけれど、下校時刻が遅くなることを問題に感じていると思います。だから、生活部員は生活班の自転車登校者が等間隔で配置され、見届けながら下校するのはどうでしょうか。</div>	役割	発言内容	司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の話し合いは、「自転車のマナー改善に向けた具体的な方途を生み出す」ことを目指します。</li> <li>お互いの発言内容を結び付けながら話し合いを進めましょう。</li> </ul>	参加者	<p>A 私は登下校時に生活部員が見守る活動をすると思います。アンケートを見ると、「誰も見ていないから」という考えで速度を出しすぎている人が多いことから、見る人を増やすと解決できると思います。</p> <p>B 私はAさんの意見に反対です。今ボランティアとして見守りをしてくれている人がいるけれど、下校時刻が遅くなっていて、日の入りが早くなると、その子の下校が遅れることも心配だからです。</p>	研究内容2（1） <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの様子を何度も振り返ることができるようにするために、ICTで記録する。</li> <li>話題がどのように展開されているのかについて、司会者を中心に捉えることができるようにするために、適宜声かけをする。</li> </ul> 研究内容2（2） <ul style="list-style-type: none"> <li>本時の課題に立ち返り、話し合いの視点を再確認し、それぞれの役割ができる効果的な工夫がないか再確認するとともに、考えを一つにするために発言の仕方を練り直すことを指導する。</li> <li>自己の変容に気付くことができるようにするために、改善点は朱書きしていく。</li> </ul> 研究内容2（2） <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合いの目的や条件を再確認し、考えを一つにまとめるために、それぞれの話し合いの展開を声かけによって捉えることができるようにする。</li> <li>【全体への手立て（指示）】</li> <li>自分たちの話題の展開を確認し、考えが一つになるためにできることを考えよう。</li> <li>【C→Bへの手立て（声かけ）】</li> <li>相手の考えと似ているところはないかな。</li> <li>相手の考えに対して部分的に賛成できることはないかな。</li> <li>【B→Aへの手立て（声かけ）】</li> <li>考えをまとめるためには、どのような言葉を使うとよいだろう。</li> </ul>
役割	発言内容							
司会	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の話し合いは、「自転車のマナー改善に向けた具体的な方途を生み出す」ことを目指します。</li> <li>お互いの発言内容を結び付けながら話し合いを進めましょう。</li> </ul>							
参加者	<p>A 私は登下校時に生活部員が見守る活動をすると思います。アンケートを見ると、「誰も見ていないから」という考えで速度を出しすぎている人が多いことから、見る人を増やすと解決できると思います。</p> <p>B 私はAさんの意見に反対です。今ボランティアとして見守りをしてくれている人がいるけれど、下校時刻が遅くなっていて、日の入りが早くなると、その子の下校が遅れることも心配だからです。</p>							
本時の学びを振り返る。	④ 本時の学習を振り返る。 ○ 最後に録画した話し合いの様子や話し合いのメモを見返して、本時の学びを振り返る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">話し合いを進めるときには、話題の展開を捉えながら話し合うことが大事だとわかった。また、話し合いがまとまらない時には、話し合いの目的や条件を再確認したり、互いの発言の相違点や共通点を整理したりすることで考えをまとめることが大切である。 今回の活動で、自分の考えを通じたいと思っていたが、他の人の発言内容との共通点を見つけて、さらに具体的になった。 今後の話し合い活動では、自分の考えを通そうと思うのではなく、目的や目指す到達点を意識して話し合いをしていきたい。</div>	研究内容2（2） <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りとして、話し合いの様子やメモを見返し、以下の3つの視点で、本時の学びを言語化する。特に、「②どう練り直したか」については、具体的に書くように指示し、生徒自身がどのように自己調整を図ったかを自覚できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">           ①本時の学び            ②どう練り直したか            ③今後につなげたいこと         </div>						

## 8 単元指導計画

### (1) 単元の目標

- ① 意見と根拠など、情報と情報の関係について理解することができる。  
 [知識及び技能] (2) 情報ア
- ② 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。  
 [思考力、判断力、表現力等] A話す・聞く (1) オ
- ③ 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。  
 [学びに向かう力、人間性等]

### (2) 本単元における言語活動

「自転車利用時のマナーを改善するには」について、話題の展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。

(関連：[思考力、判断力、表現力等] A話す・聞く (2) イ)

### (3) 単元の指導計画と評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2) ア	「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。A (1) オ	積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見通しをもってグループで話し合いをしようとしている。

### (4) 指導と評価の計画 (4時間)

時	ねらい (◎は学習課題 ☆は主発問)	評価規準	評価方法等	記録
1	<p>話題を確認し、話し合う目的を明確にする活動を通して、集めた情報と自分の意見の整合性に気づき、自分の意見とその材料を整理することができる。</p> <p>◎ 話題について、意見をもち、情報を集めよう。</p> <p>☆ 集めた情報や内容は、相手や目的に合っているだろうか。</p>	【思考・判断・表現】A (1) ア 相手意識、目的意識をもって、集めた材料を整理し、伝える内容を検討している。	ワークシート ・ 話題に対する自分の意見を考え、写真を用意したり、情報を集めたりして、聞き手のことを考えながら情報を分類、整理しているか確認する。	
2	<p>自分の意見と、その根拠をまとめる活動を通して、情報と情報を組み合わせることで、根拠の有用性が高まることに気づき、情報と情報との関係について理解することができる。</p> <p>◎ 根拠を明確にして、意見をまとめよう。</p>	【知識・技能】(2) ア 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	ワークシート ・ 整理した材料について、意見と根拠、情報と情報の関係性について書き込んで	●

	☆ 根拠が明確だというために必要なことはなんだろう。			
3 本 時	<p>「自転車のマナー改善に向けた具体的な方途を生み出す」ための話し合い活動を通して、話し合いの目的や条件を常に意識することが大切であると気付き、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。</p> <p>◎ 話し合って、それぞれの意見を一つにまとめよう。</p> <p>☆ どうすれば話し合いをまとめられるだろう。</p>	<p>【思考・判断・表現】A(1)オ 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる発言をしている。</p> <p>【主体的に取り組む態度】 積極的に互いの発言を結び付けて考え、学習の見通しをもってグループで話し合いをしようとしている。</p>	<p><u>発表・話し合い動画</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>互いの意見を結び付け、考えをまとめるために、話し合いの中で工夫しながら発言したり、質問したりしているか確認する。</li> <li>互いの発言を結び付けて発言しようとしていることを話し合いのメモや姿から確認する。</li> </ul>	●
4	<p>話し合い活動を振り返る活動を通して、効果的な発言に気付き、よりよい話し合いの仕方について考えることができる。</p> <p>◎ 話し合いを振り返り、よさを見つけよう。</p> <p>☆ これからの話し合い活動で、どのようなことを大切にすればよいだろう。</p>			●

●…記録に残す評価